

中小企業白書・小規模企業白書から見る 資金繰り管理の重要性

今年 4 月に中小企業庁が取りまとめた、2025 年版の中小企業白書・小規模企業白書が閣議決定されました。

2025 年版の中小企業白書・小規模企業白書では、円安・物価高の継続、「金利のある世界」の到来による生産・投資コスト増、構造的な人手不足により、中小企業経営者が直面している「資金繰りのリスク」に強い警鐘を鳴らしています。

今回は、2025 年版の中小企業白書・小規模企業白書の中から「資金繰り管理」にフォーカスしてお伝えします。

■金利上昇局面～資金繰り管理の重要性～

2024 年に日本銀行がマイナス金利政策を解除し、政策金利は 0.5%に達しました。長く続いたゼロ金利時代が終わり、企業にとっては「お金の借り方」を見直す必要が出てきました。

企業規模別の「借入金利水準判断 DI」の推移を見ても、前回、政策金利の引上げが行われた 2007 年以來の水準となっており、大企業、中小企業共に金利の上昇を実感する企業が増加していることが分かります。

※「借入金利水準判断 DI」とは、借入金利水準について、「上昇」と答えた企業の割合から「低下」と答えた企業の割合を引いたもの。

■なぜ「資金繰り管理」が急務なのか？

金利上昇は企業の「資金繰り」を直撃します。融資の支払利息が増える一方で、仕入れ・人件費・光熱費といった支出が高止まりする中、「手元のキャッシュをどう守るか」が経営の死活問題となっています。

小規模企業白書では、こうした状況下で重要なのは、「**自社の状況を正確に把握し、先回りで手を打つこと**」だと繰り返し述べています。単に売上を伸ばすことだけでは不十分で、「いつ、いくら現金が出ていくのか、入ってくるのか」を的確に予測することが、融資交渉や投資判断において非常に重要です。

■今すぐできる資金繰り対策

☆資金繰り表をつくる

まず取り組むべきは、なんといっても「資金繰り表」を作ることです。売上入金や仕入、家賃、人件費などの経費の支払い、借入返済の予定などを月ごとに一覧にまとめ、現預金残高がどう推移するかを“見える化”します。

資金繰り表という資料自体は非常に簡単なものですが、作っていない会社が圧倒的に多いのが現実です。しかし、こうした取り組みを行っている企業は金融機関との関係性でも優位に立ちやすく、適切なタイミングで追加融資や借換えの相談ができます。これは、小規模企業白書の中でも事例として紹介されていますが、実際、弊社の顧問先の状況を見ても間違いありません。

資金繰り表を作っていない場合はすぐにでも取り組んで下さい。

☆借り方の見直しを検討する

借り方の見直しをすることで、将来のキャッシュフロー安定に繋げることができます。

今受けている融資が御社の状況に見合っているとは限りません。多くの経営者は、融資を受ける際に、自ら借り方を指定するのではなく、金融機関の提案に乗って借りていることでしょう。

本来、運転資金は短期借入金で借りるべきですが、5 年や 7 年の長期融資で借りている会社がほとんどでしょう。

特に経常運転資金と呼ばれる、恒常的に必要となる運転資金は、毎月の返済が発生する形で借りると、毎月の返済額が重くなり資金繰りが不安定になります。こうした状況の場合は、御社に最適な借り方に見直すことが効果的です。

また、借り換えを行うことで、毎月の返済額を抑えられることも多いので、今一度、借り方を見直すことをお勧めします。

また、変動金利が上昇していく局面において固定金利で調達するのも一つの方法です。都道府県や市区町村の制度融資には固定金利の制度もありますし、日本政策金融公庫による融資は固定金利です。しかし、取引金融機関全体のバランスを考えると借りるべきですので、日本政策金融公庫に寄せ過ぎるのは良くありません。

これらの資金調達戦略は、専門的な知識や判断が必要なケースも多いので、弊社にご相談いただければ、最適なアドバイスをいたします。

■資金繰り重視の経営へ

売上や利益を重視するだけでなく、「資金繰り重視の経営」へ意識を転換することが、今後の時代を生き抜く鍵です。

白書では、金利上昇局面において、いかに中小企業が経営の足元＝キャッシュを見つめ直すか問われている事を示しています。

国は、年商 100 億円を超える企業にスケールアップする中小企業への支援を強化しています。

「業績やキャッシュフローを適時・適切に確認できる管理」の取組状況についてスケール別に確認した資料にて、「取り組んでいる」と回答した事業者の方がスケールアップを実現した割合が高いことが白書に示されています。

中小企業・小規模企業が今後生き抜くには、経営の基礎力（毎月の試算表作成・経営状況の把握・資金繰り表の作成）の底上げが急務です。まずは、資金繰り表の作成から始めましょう。それが未来のチャンスにつながる第一歩になるはずです。

弊社は、中小企業の財務支援を得意としています。毎月の資金繰り管理体制の構築の支援、経営計画策定から計画実行支援といった、まさに今年の白書に書かれていることを実現するためのお手伝いが主業務です。ぜひお気軽にご相談ください。

【連絡先】 Love & Happiness 株式会社
E-Mail: tsuyoshi_no1@msb.biglobe.ne.jp